

No12

【3】

■ 全体のテーマ

この一篇は、John が Martha の行動に感じた複雑な感情(安堵と怒り)を描いています。Martha はクリスマスにおいてこだわりを持ち、過去の係れから自分なりの感謝の 5 現として John に贈り物を渡そうとしていますが、John はその行動を理解しながらも、不満を抱い、コミュニケーションの行き道の難しさが表現されています。

■ 全訳 ジョンは「安堵」と「怒り」の間で心が引き裂かれていた。マサの問題がクリスマスだけだと気づいて、気が楽になった。一方で「またか」と叫びたくなるほど、彼女らしいとも思った。マサはいつもクリスマスを大げさに祝っていた。ニューヨークの小さなアパートでは、北欧風のクリスマスツリーを飾り、スウェーデンの丸いクッキーや色付きキャンディーがあった。贈り物も山ほどあり、それも一流店の高価な品ばかりだった。彼女はジョンのために特注の贈り物を甦えるのを喜んでいた。しかしジョンは、贈り物などまったく気にしていなかった。今年は、彼女の書いた劇を原稿カバーに入れて、献記を添えてくれれば、それで十分だった。彼は数ヶ月前にそれを伝え、彼女も同意していた。だが今、彼女は明らかにその約束を破り、欲しくもない贈り物のために、生活に余裕のない中でお金を借りているのだった。

🔍 第 1 文

John was torn between relief and anger.

ジョンは「安堵」と「怒り」の間で心が引き裂かれていた。

■ 解説ポイント

✓ was torn between A and B: 受動態の構文。「A と B の間で引き裂かれている」=「板挟み状態にある」「気持ちが揺れている」という比喩的表現。

✓ relief(安堵)と anger(怒り)という対照的な感情が並置され、心の葛藤が描かれている。

🔍 第 2 文

It lightened his spirits to realize that Christmas was the only thing that was the matter with Martha.

マサの問題がクリスマスだけだと気づいて、気が楽になった。

■ 解説ポイント

✓ It ... to V 構文: 形式主語の構文。「to realize 以下が his spirits(気分)を軽くした」

✓ lighten one's spirits: 「気分を明るくする/楽にする」

- ✔ that Christmas was ...:to realize の内容を示す that 節。
- ✔ that was the matter with Martha:関係代名詞 that が先行詞 the only thing を修飾。 → 「マサにとって問題だった唯一のもの」

🔍 第3文

At the same time, he could have screamed at how typical this was of her.
 一方で「またか」と叫びたくなるほど、彼女らしいとも思った。

■ 解説ポイント

- ✔ at the same time:「同時に、一方で」対比を導く副詞句。
- ✔ could have + 過去分詞:過去の可能性・非現実を示す仮定法。「～してもおかしくなかった」「～したかった」など文脈次第で訳を調整。
- ✔ how typical this was of her:how を使った感嘆文的内容をもつ名詞節。 → 「いかに彼女らしいかに(驚いて)」
- ✔ scream at ...:「～に対して叫ぶ」だが、ここでは比喩的表現で「叫びたくなる」心情を表す。

🔍 第4文

She had always made a fuss over Christmas.
 マサはいつもクリスマスを大げさに祝っていた。

■ 解説ポイント

- ✔ had always made:過去完了+頻度副詞。「以前からずっと～していた」
- ✔ make a fuss over A:「A に騒ぎ立てる」「大騒ぎする」「過剰に構う」 → 「クリスマスに騒ぐ」「特別視する」ニュアンス。

🔍 第5文

In her little apartment in New York, they had always had a Scandinavian-style Christmas tree, with round Swedish cookies and coloured candies.
 ニューヨークの小さなアパートでは、北欧風のクリスマスツリーを飾り、スウェーデンの丸いクッキーや色付きキャンディーがあった。

■ 解説ポイント

- ✔ had always had:過去完了。「ずっと～を持っていた／飾っていた」
- ✔ Scandinavian-style Christmas tree:「北欧風のクリスマスツリー」

✔ with round Swedish cookies ...:with 構文(付帯状況)→ ツリーに飾られていたもの、または周囲の様子を補足。

🔍 第6文

There were always heaps of presents, expensive ones, from the very best shops.

贈り物も山ほどあり、それも一流店の高価な品ばかりだった。

▪ 解説ポイント

- ✔ There were:存在を示す構文。
 - ✔ heaps of A:「たくさんの A」(口語的表現)
 - ✔ expensive ones:ones = presents を指す代名詞。形容詞 expensive を後置修飾。
 - ✔ from the very best shops:前置詞句。「最上級の店から」→「一流店」
-

🔍 第7文

She rejoiced in having things specially made for him.

彼女はジョンのために特注の贈り物を用意するのを喜んでいた。

▪ 解説ポイント

- ✔ rejoice in A:「A を喜ぶ」=やや文語的表現。
 - ✔ having things specially made for him:動名詞句。→ things を目的語とした使役構文(have + O + 過去分詞) → 「特別に作らせる」=「特注する」
-

🔍 第8文

But he did not care at all about getting presents.

しかしジョンは、贈り物などまったく気にしていなかった。

▪ 解説ポイント

- ✔ did not care at all:「まったく気にしない」
-

🔍 第9文

This year, her play would be present enough, if she gave it to him in manuscript covers, with a dedication.

今年は、彼女の書いた劇を原稿カバーに入れて、献辞を添えてくれれば、それで十分だった。

■ 解説ポイント

- ✔ would be present enough: 仮定法的表現。would + be + 形容詞。→ 「十分なプレゼントになるだろう」
 - ✔ if she gave it to him: 仮定法現在
 - ✔ in manuscript covers: 「原稿カバーに入れて」
 - ✔ with a dedication: 「献辞を添えて」
-

🔍 第10文

He had told her this months ago, and she had agreed, but now she had gone back on her word, obviously, and was borrowing money they could not afford to give him something he did not want.

彼は数ヶ月前にそれを伝え、彼女も同意していた。だが今、彼女は明らかにその約束を破り、欲しくもない贈り物のために、生活に余裕のない中でお金を借りているのだった。

■ 解説ポイント

- ✔ had told / had agreed / had gone back: 過去完了時制の連続。→ 順に「言った」「同意した」「反故にした」流れ。
- ✔ go back on one's word: 「約束を破る」
- ✔ was borrowing money ...: 進行形。「お金を借りている最中」
- ✔ they could not afford to ...: 「～する余裕がない」 → afford to give him something he did not want: 欲しくもないものを贈るための余裕がない

[FURTHER STUDY]

【エッセイ 1:The Chance to Perform】

He couldn't hide his excitement when he got the chance he had to perform on stage for the first time. He had waited years for an opportunity like that, practicing every day. That moment became the beginning of his journey as a performer.

- ・hide:隠す ・excitement:興奮 ・perform on stage:舞台上で演じる
- ・opportunity:機会 ・journey:旅(ここでは比喩的に「人生の旅路」)

彼は、初めて舞台上で演じることができたチャンスを得たとき、興奮を隠すことができなかった。彼はそのような機会を何年も待ち続け、毎日練習していた。その瞬間が、彼のパフォーマーとしての旅の始まりとなった。

文法解説:

- the chance he had to perform の部分は、「演じる必要があった」ではなく、「彼が持っていた、演じるチャンス」を意味する関係詞構文＋不定詞。to 不定詞が名詞 "chance" を修飾している。

【エッセイ 2:Lacking the Capacity】

Because she lacked the capacity she needed to manage such a large team, the company assigned her a co-leader. At first, she felt disappointed, but she quickly realized it was the best decision. With support, she learned to lead more effectively and grew into the role over time.

- ・lack:～を欠いている ・capacity:能力、適性 ・assign:任命する、割り当てる
- ・co-leader:共同リーダー ・grow into:～に成長する、慣れていく

そのような大きなチームを管理するために必要な能力が彼女には欠けていたため、会社は彼女に共同リーダーを任命した。最初は落ち込んだが、すぐにそれが最善の判断だったと気づいた。サポートを受けながら、彼女はより効果的にリードすることを学び、その役割にふさわしい人へと成長していった。

文法解説:

- the capacity she needed to manage の構造は、「管理するために必要としていた能力」という意味で、“capacity” に対する関係詞節(she needed) + to 不定詞(to manage)で構成されている。
- “Because” で始まる副詞節の中にこの複雑な名詞句が含まれているのがポイント。

【エッセイ 3:The Kindness He Had to Show】

Although he had his own problems, he never forgot the kindness he had to show to those who had helped him in the past. He often visited his old neighborhood and offered support to struggling families. To him, gratitude was not just a feeling—it was something that needed to be expressed in action.

- kindness: 親切、思いやり
- neighborhood: 近所、地域
- struggling: 困難に直面している、苦勞している
- gratitude: 感謝
- express: 表現する、示す

彼は自分自身の問題を抱えていたにもかかわらず、過去に自分を助けてくれた人々に示すことができた親切を忘れなかった。

彼はよく昔の近所を訪れ、困っている家族を支援した。

彼にとって感謝とは、単なる感情ではなく、行動で示すべきものだった。

文法解説:

- the kindness he had to show の部分は、「示さなければならなかった親切」ではなく、「彼が示すことができた親切さ」の意味。“had” は「持っていた」で、“to show” は “kindness” を修飾する不定詞句。